

## 群馬県内自動車部品製造企業の生産状況と課題

群馬経済研究所 主席研究員 河村英輝

### 調査のポイント

統計データ、アンケート調査の結果に、企業へのヒアリング結果を交えて、県内自動車部品製造業の最近の生産状況と経営上の課題をまとめた。

### 要約

- 県内自動車部品製造業の最近の生産状況をみると、23年後半になって、半導体調達の正常化などにより、新型コロナウイルス感染症が流行する以前の19年度を上回る水準にまで回復している。
- 県内自動車部品製造企業では、「製造コスト上昇への対応」「人手不足への対応」「生産・物流体制の見直し」「EVシフト等新分野への対応」が経営上の課題となっている。
- 「製造コスト上昇への対応」として価格転嫁があるが、価格転嫁をしづらい企業がある一方で、23年末辺りから価格転嫁をほぼ受け入れてもらえるようになった企業が出始めており、明るい兆しもみられる。
- 「人手不足」は深刻で、この対策として初任給の引き上げや定年退職年齢の引き上げを検討している企業がみられる。このほか、業務のスリム化や省力化投資、デジタル化の促進、従業員が安心して働き続けられる職場づくりが重要となる。
- 「物流の2024年問題」に伴う「生産・物流体制の見直し」は、今後業界全体で取り組みが始まる見込みである。業界全体での取り組みと歩調を合わせつつ、今まで以上に時間厳守の生産体制を構築することが必要になる。
- 「EVシフト等新分野への対応」では、EV向け新製品の開発や販路拡大、自動車以外の業界への販路拡大などの動きが出てくるとみられる。